

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも

デジタル版 お申し込み PC、スマホで

愛読者セット

デジタル 毎日



写真 動画 有料会員向け

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログイン

トップ 社会 政治 経済 国際 サイエンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 大盛り北海道 いりやあせ名古屋 めっちゃ関西 オッショイ！九州 首都圏版

[PR] 港区の自宅価値が高騰中！今が売り時／提携

特集ワイド・ニュースアップ

他の連載記事はこちら

兵庫・宝塚のソーラーシェアリング 天地の恵み、過疎対策に＝社会部・大島秀利、山本愛

毎日新聞 2017年11月22日 大阪夕刊

農林業 めっちゃ関西



発電パネルの下の作物を見て回る古家義高さん（左端）と井上保子さん（右手前）ら＝兵庫県宝塚市で2017年9月13日、大島秀利撮影

[PR]

「市民農園」も併設

兵庫県宝塚市の山間地にある6カ所の農地で、この2年間に農業と太陽光発電を両立させる「ソーラーシェアリング」が相次いで始まった。これほど急速で集中的な導入例は珍しい。普及を後押しするのは、農家や市民の「過疎化を克服して、農業を守りたい」という熱い思い。市民農園と併設する取り組みもあり、国も注目している。

「農業を守りたい」

導入が進むのは、宝塚市北部の西谷地区。多様な動植物が生息し、環境省から「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されている。だが、若い世代が流出して農業後継者が減り、急速に過疎化が進む。15年前に3216人だった人口は今年3月末現在2割減の2554人。高齢化率は41.9%という高さだ。

そんな西谷地区でソーラーシェアリングを提案するのは「宝塚すみれ発電」社長の井上保子さん（58）。これまでも市民出資による太陽光発電所の建設を手がけてきた。

井上さんはかつて、食品の共同購入運動をしていた。そこに1986年、旧ソ連のチェルノブイリ原発事故が発生し、欧州などで作物が放射能に汚染された。原発は食品の安全を脅かすとして反対するようになり、再生可能エネルギーを普及させるために宝塚すみれ発電を設立した経緯がある。

「農業を守りたい」という思いは、井上さんたちの活動の原点。そんな中、農地を維持しながら売電収入を得るソーラーシェアリングの仕組みを知り、魅力を感じた。

農地に支柱を立てて太陽光パネルを並べ、発電するには農地の一時転用許可が必要となる。その条件は「営農が続き、農産物の生産にほとんど支障がない

毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

THE WALL STREET JOURNAL.

デジタル 毎日 月額 3,200円(税別) 初月無料

ピックアップ

山田清志学長に聞く 建学75周年を迎えた東海大学。

アンケートに答えるとAmazonギフトがもらえる 「毎日アンケートパネル」募集中！

話題の記事

Timeline

185

0

日馬富士暴行 リモコン、灰皿で殴打 個室モンゴル勢のみ

フィンテック スマホ決済、現金消えた スウェーデン、バンも献金も

そこが聞きたい 憲法9条の存在意義 ルーツは「徳川の平和」 思想家・柄谷行人

教育の窓 「誰のための学校なのか」 頭髪黒染め強要

自動車不正リポート 国交省局長に6度も頭を下げた日産社長の“失態”

powered by CXENSI

アクセスランキング

1時間 1日 1週間 SNS 動画 写真

毎時01分更新

- 世界の雑記帳 「ダサイ」セーターの世界選手権、フランス南部で開催
- 人生相談 愛なき夫にどう向き合うか＝回答者・高橋源一郎



太陽光発電パネルの下で枝豆が育つソーラーシェアリングの農地＝兵庫県宝塚市で2017年9月13日、大島秀利撮影

こと」と農林水産省が定めている。裏を返せば、ソーラーシェアリングで発電が続く限りは農業も続くことになる。

井上さんが実施場所を探していると、西谷の元園芸農家、古家義高さん（67）＝同市大原野＝が「私が最初にやってみよう」と手を挙げた。古家さんは以前、球根の花アマリスを生産していたが、規制緩和で安い輸入品に押されて事業が成り立たなくなっていた。



ソーラーシェアリングの導入地点

1号基となった太陽光発電は、出力50キロワットで2015年8月から発電を開始。金属製の支柱は高さ約3メートルと高く、支柱の設置間隔も5メートルと広いので、農機の出入りに支障はない。さらに195枚の発電パネルは、地上に太陽光が降り注ぐように隙間（すきま）をあけて設置しているため、遮光率は30%ほどに抑えられ、作物の生育

の妨げにはならない。初期費用の負担が大きいのが課題だ。

次代への「バトン」

2基目を設置したのは、西谷自治会連合会会長で兼業農家の西田均さん（68）。パネル下では、地域の特産の黒豆（枝豆）を作っている。70歳近い古家さんと西田さんは「農地を荒地にしないため、次の世代にバトンを渡すのは今。早く手を打ちたい」と考え、普及のために「西谷ソーラーシェアリング協会」を設立。これまでに計6基の太陽光発電を設置した。

1号基の下の古家さんの農地では、宝塚の市街地に住む柴田邦雄さん（39）が「半分脱サラ」して、農業や化学肥料を使わずに野菜を作っていた。「元理系」という柴田さんはソーラーシェアリングについて「どうなるのか面白い」と賛同。現在は季節に応じて約三十数種類の野菜を作っている。特に、日が当たり過ぎると苦みが出るリーフレタスは、パネルでほどよく影ができ、出荷先の消費者に「葉がやわらかく甘みがある」と評判という。インゲン豆などの豆類も影ができたことで収穫量がかえってアップした。柴田さんは兼業農家だが、「今は半分以上が農業」とのめり込んでいる。

宝塚すみれ発電が古家さんの別の土地を借りて4号基を建設した農地では、古家さんが「市民農園」を開設している。サツマイモが植えられ、都市部の住民らが世話をしに訪れる。

6基の周辺には見学者ら若い世代が集い始めた。その一人が進学塾の塾長、石井克馬さん（38）で、今年から野菜作りに加わった。石井さんは小中高生や未就学児と一緒にトマト、キュウリ、スイカなどの夏野菜やサツマイモを育て、収穫する「夏休みの校外学習」を進めている。畑での土いじりは初めての子どもばかりで、カエルなどの生物に接しては歓声を上げるという。塾で人気の企画だ。

卒論のテーマにも

地元の大学も強い関心を示す。古家さんの「市民農園」では、管理栄養士らを養成する甲子園大学（宝塚市）が昨年宝塚すみれ発電と共同研究を始めた。農園の約50平方メートルで、約150キロのサツマイモを収穫し、ジャ

- 3 大相撲九州場所
一年の納め、白鵬優勝 ファンは思い複雑
- 4 質問なるほど
フィンテックって何？ IT駆使した金融サービス 世界中で広がる＝回答・坂井隆之
- 5 ビットコイン
記者も購入 激しい乱高下に戸惑い

編集部のオススメ記事

「リファラル採用」広がる

くらしナビ ライフスタイル > 社員から知人を紹介してもら...

運転再開支援「途上県」多く

脳卒中などのリハビリを終えた人が自動車運転を再開したいと望...

フィンテックって何？

なるほど！ フィンテックという言葉を聞くけど、どういう意味...

のマークについて

今週のおすすめ

世界に存在感を示せる大学に
建学75周年を迎えた東海大学。大学の今と将来像を山田清志学長に聞く



自分の考えを文字で伝える！
第17回インターネットによる高校生小論文コンテスト



人気推理作家が語る
「嗜好と文化」私のポリシー
vol.80 貫井徳郎さん



ムなどに加工して大学祭で販売したところ好評だったという。ゼミの卒論のテーマに選んだ学生も複数いた。

さらに今年度後期の授業「食と地域の実践演習」でもソーラーシェアリングを取り上げた。先月下旬には栄養学部の学生らがサツマイモを収穫し、大きいものは約40センチに育っていた。

初めて農園を訪れた3年の田中あつみさん（21）は「太陽光パネルの下にある畑でも、こんなに立派なサツマイモができるんですね」と驚いた。3年の田村優大さん（21）は「太陽光パネルはとほころ空が見えるように空いている。日を取り込めるように工夫がされているから農作物も育つんですね」と感心していた。収穫したサツマイモは、干し芋にし、レシピを考案中という。

同大の川合真一郎特任教授は「西谷地区のように農業を担う若者が減少し、過疎が進む地域は多い。打開策の一つとしてソーラーシェアリングが広がれば」と話す。

地域エネルギー課を持つ宝塚市も「地域の中でお金が回る仕組みになる」と太陽光発電設備の固定資産税を5年間免除するなどの支援に乗り出している。

同市の招きで、再生可能エネルギーによる地域振興について先月講演した農水省再生可能エネルギー室の齋藤将司課長補佐は「ソーラーシェアリングのもとで若い人が営農するのは重要だと思う。農業を知らなかった人が市民農園に集まっているのはとてもユニークだ」と注目している。

井上さんは「宝塚は歌劇で有名だが、豊かな自然の中で農業ができる西谷地区はもう一つの宝物。農地を残そうという地主の気概が生かせるようになれば」と期待している。



特集ワイド・ニュースアップ

前の記事

長崎出身の米倉さん 18歳でポリビアに渡った花嫁 半世紀後、明かされた被爆＝社会部・平川哲也

関連記事

質問なるほドリ：揚水発電って何？ 余った電力で水引き上げ 必要な時放水する「蓄電池」＝回答・須田桃子

米国：太陽光パネルの輸入制限を勧告 国際貿易委

となりのファーマー：／20 早瀬野菜研究所（兵庫県三田市） サラダもジャムも匠の配合

太陽光発電所：祝「市民電力」第一歩 小矢部に完成 10カ所設置目指す／富山

農and食・毎日農業記録賞：高校生部門優良賞 「7代目の決意～地元一の農業女子を目指して」 関森静巴…

こんなことも必要！もしもに備える、ペットの防災対策～政府広報
人気推理作家が語る「嗜好と文化」私のポリシー vol.80 貴井徳郎さん